



談山神社の神廟（しんびょう） 拝所と十三重塔



談山神社（桜井市）



談山神社は藤原鎌足を祭神とし桜井市の南、山

（住所）桜井市多武峰319
 （祭神）藤原鎌足
 （交通）近鉄・JR桜井駅からバス
 約25分、終点の談山神社下
 車徒歩5分
 （拝観）8時半〜16時。要拝観料
 （駐車場）時期、場所により有料
 （電話）0744・49・0001

が連なる多武峰のふとこ
 ろに鎮座します。

唐より帰国した鎌足の
 長男定慧が678（天武
 7）年に鎌足の墓所を多
 武峰に改葬して十三重塔
 と講堂を建立、妙楽寺と
 称しました。更に701

殿を建て鎌足像を安置し
 たのを起源とします。

「多武峰縁起」による
 と飛鳥の法興寺（現・飛
 鳥寺）でのけまり会で出
 会った中大兄皇子（後の
 天智天皇）と鎌足が現本
 殿の裏山で蘇我氏制圧の
 相談をし、645（皇極
 4）年、飛鳥板蓋宮に
 て蘇我入鹿を討ち（乙巳
 年）にこの故事にちなみ、
 にはこの故事にちなみ、
 けまり祭が開かれます。

十三重塔（重文）は1
 532（享祿5）年に
 再建され、木造の十三重
 塔としては世界唯一。高
 さは約17mで、伝統的な
 檜皮葺きの屋根です。

（大宝元）年、方三丈の神
 称しました。更に701
 4）年、飛鳥板蓋宮に
 て蘇我入鹿を討ち（乙巳
 年）にこの故事にちなみ、
 にはこの故事にちなみ、
 けまり祭が開かれます。

神仏分離で談山神社と
 なりましたが随所に寺院
 の名残があり、鎌足を祭
 する本殿（1850年再建
 秋は境内が錦の紅葉に
 包まれます。

大化改新の功臣 鎌足祭る

（奈良まほろばソムリエ
 の会員 吉川康司）